

エアクリナーはS&Sステルスエアクリナー+バインバレーオリジナルカーボンカバー。フロントフォークはコンスタントライジングレートをもつ HYPERPRO のスプリングに換装。柔らかすぎず硬すぎない状態を維持し、高負荷のコーナリングや急ブレーキ時も踏ん張りが効く。リアショックは上位モデルである別体タンク付きショックユニットで Hi/Lo コンプレッションアジャスターも備わる。バルブアトローは Kellermann (ケラーマン) の技術を集結させた世界最小 LED ウィンカー。レンズ面直径わずか 7mm で、本体サイズ 13x9x14mm の極小サイズ。点灯時には十分な光量をもちながら、消灯時にはその存在を感じさせない。ハンドルの Lidlox (リッドロック) スマートヘルメットロックもスマートで機能性に優れる。エクステンダーを追加し、使いやすい。



**ハーレー用電子制御
音量可変式マフラー
ジキル&ハイドマフラー**
価格問い合わせ

ハンドルのスイッチを押すだけでマフラー内のバルブがモーター駆動のワイヤーによって開閉され、音量の可変を実現。バルブがクローズ状態ではノーマルのような静かなサウンド、オープン状態ではドコドコとした迫力の排気音となる。スイッチをダブルタップすると半分、つまり 50% 開けのサウンドも可能となり、音量は 3 段階。車検対応で安心して公道を走れる。

バインバレーオリジナルショートナンバーキット

2018年以降FXBBストリートボブ / FLSL ソフトテイルスリム用 (LED ナンバー灯付属) 2万9000円 (税込)



せっかくショートリアフェンダーが装着されているのに、大きく張り出したノーマル標準装備のライセンスブラケットのせいでリア周りのスタイルが台無しに。2018年式以降ストリートボブ / ソフトテイルスリム用ショートライセンスブラケットキットが、リア周りをスッキリさせてくれる。LED ナンバー灯はリアフェンダー内側に隠れて存在感をなくしつつも、しっかりとナンバーを照らし出す。リフレクターもセットにしたオールインワンのコンプリートキットで、取付け時はリアフェンダーの取り外し、ナンバー灯の配線加工の作業が含まれるが、ブラケットの取付けはボルトオンで穴あけ加工や特殊な加工は不要とした。2万9000円 (税込み)
 ■キット内容: ショートナンバーブラケット本体 (ステンレス / ブラック)、ナンバーステー 固定用ボルト・ワッシャー類、LED ナンバー灯、リフレクター。



ミルウォーキーエイトはもっと面白くなる!

**PINE VALLEY
FXBB STREETBOB**

豪然たる加速が味わえるではないか。そして、サウンドも迫力があって心地よい。マフラー交換され音量が上がっているだけでなく、歯切れのいい上質な音で、連続したこもった音になっていない。「カム交換することで、サウンドも飛躍的に良くなるんです!!」(矢野さん)
 驚きは、そのドコドコ感とハンチのあるサウンドの音量を、ハンドル左にあるスイッチひとつで自在に変えることができることだ。いま人気の音量電子制御式可変マフラー「ジキル&ハイド」が装着されている。モーターでワイヤーを引き、マフラー内部のバルブを開閉することで音量が変わる仕組み。手元のスイッチを押すだけで、停車中でも、走行しながらでも簡単に音量を3段階に変えることができる。「音を静かにしたいときはバルブをクローズ(全閉)にし、市街地などでは50%開きでほどほどに。迫力のサウンドを存分に楽しむことができるシチュエーションでは、100%オープン(全開)に使い分けられます」(矢野さん)
 信号待ちで音量を変えると「おや」と、他の人の視線を集める。車検対応なのも嬉しいが、
 エアクリナーはS&Sステルスエアクリナー+バインバレーオリジナルカーボンカバー。カムはもちろん、吸・排気のいずれかが変わればインジェクションチューニングが必要なのは言うまでもないが、矢野さんは「エアクリナー、マフラー、カムを同時に済ませてしまうのが効率的ですよ」と、3点セットでの施工をオススメする。
 パワーエックしたデータを見ると、最高パワーはノーマルの約73PSから103.5PSにアップ。トルクカムの場合

は96~100PS、パワーカムなら107~110PS (低速は扱いづらく、音質は高め) となり、ジャンプスベックカムが両者の中間狙いであることが、ダイナミックの計測によっても明白。
 実際に乗っても、まさにちよっどいいトルク感と力強い鼓動、サウンドで、ストレスなくコキゲンに走れ、いつまでも走り続けたいくなる。
 また、足まわりもハイパープロサスペンションで強化済みで、フロントフォークはスプリングのみ交換、リヤサスペンションは別体タンク付きにグレードアップ。路面追従性と乗り心地が向上し、負荷をかけたときの限界も上がっている。トルクアップしたエンジンにマッチする前後サスで、トータルバランスに優れたミルウォーキーエイトソフトテイルに舌を巻く。
 店舗に連日、カスタムを求めるユーザーが押し寄せているのも頷ける。インジェクションチューニングはウェブで予約でき、カム交換などカスタムの相談は大歓迎のことだ。





STEALTH TRIBUTE エアクリナーは、1981年に販売された TWO THROAT キャブレターキットのカバーを元にしたクラシカルスタイルとなり、いわば定番でもある。吸入効率をアップさせることはもちろん、エアクリナーを交換することで、エンジン周りのカスタム感も大幅にアップ。S&S独自の構造である「スティンガーコーン」により、エアクリナー内の空気の流れを整え効率的に吸気を実現した。

ステルストリビュートエアクリナーキット

ミルウォーキーエイトエンジン 2017-2020 純正EFI(電子スロットル) クローム/ブラック
ツインカムエンジン 2008-2017 純正EFI(電子スロットル) クローム/ブラック
ツインカムエンジン 2001-2017 純正キャブ/EFI(ケーブル2本引き) クローム/ブラック
オープン価格

05 S&S

■問い合わせ:プロト TEL.0566-36-0456
<https://www.plotonline.com/>

STEALTH TRIBUTE エアクリナーに 新ラインナップ登場!!

新製品やハーレーにまつわる話題はココでチェック!

06 TRIJYA

■問い合わせ:トライジャ TEL.072-970-3110
<http://trijya.com/>

「あったらいいな」が、ナントあるのだ! 重たい車両を補助してくれる電動モーター式補助輪システムである。「大きなハーレーに乗りたがりたい」「トライクではなく二輪がいい」というシニアの方々や女性にオススメ。システム総重量が7~10kg以内と軽く、ガス検等新規登録可能、車検対応。手元のスイッチひとつで出し入れができ、萬羽バックギヤとの相性も抜群としている。

あくまでも電動のセンタースタンドに補助輪がついているというもので、補助輪を出したまま走り続けるというものではない。停止時はもちろん、狭い場所での小回り、取り回し、つまり極低速で走るときにたいへん役立つのだ。これは画期的としが言いようがない。

GLK Landing gear

バイク用補助輪システム
ライディングギヤ Type A or Type B
47万6000円(税抜) / 52万3600円(税込)

収納または出すのは手元のスイッチひとつで素早くできる。自立しないようアーム類はブラックで仕上げた。駆動輪ではなく、スタンドに補助輪がついたというもの。車検に対応しているのも嬉しいかぎりだ。

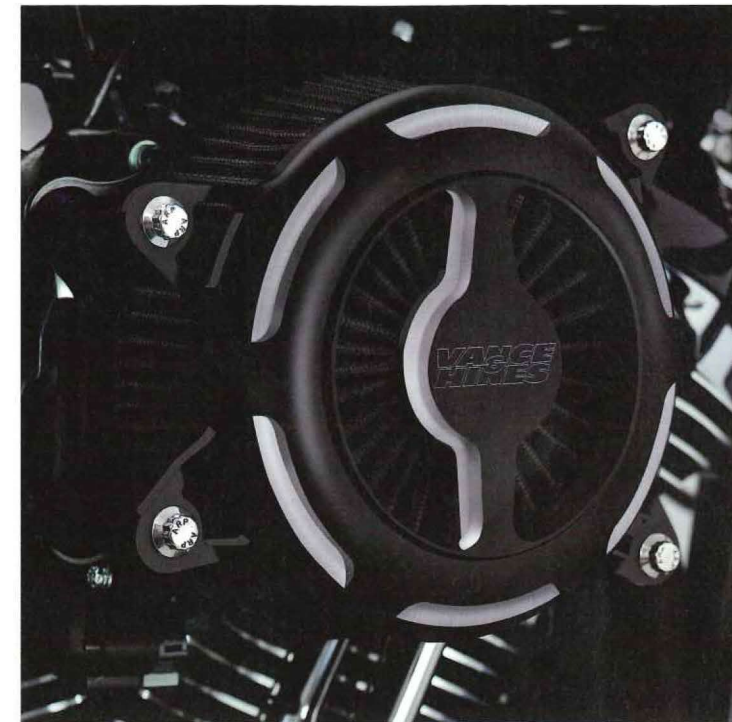


航空機のプロペラがモチーフの ハイフローエアクリナー



VO2 AIR INTAKE VO2 BLADE

SPORTSTER 1991-2020 ブラック/クローム
SOFTAIL 2000-2015/DYNA 1999-2017(TC) ブラック/クローム
TOURING 2008-2016 (TC) ブラック/クローム
TOURING 2017-2020 (M8) ブラック/クローム
SOFTAIL 2018-2020 (M8) ブラック/クローム
オープン価格



04 VANCE&HINES

■問い合わせ:プロト TEL.0566-36-0456
<https://www.plotonline.com/>

バンス & ハインズ初の 米国 50 州公認取得マフラー

TORQUER450

H-D ツーリングファミリー
ミルウォーキーエイト 2017-2020 ブラック/クローム
ツインカム 2008-2016 ブラック/クローム
オープン価格



ツーリングファミリーにフィットする新型スリップオンマフラー「TORQUER450」。ベストサウンドとパワーを引き出すために開発・設計された内蔵パッフルは特許出願中。マフラーの仕上がりは、クロームとブラックの2種類が選べる。



バンス&ハインズがリリースする人気のリプレイスエアフィルター「VO2 AIR INTAKE」シリーズに、新デザインが追加され、ラインナップを増やした。K&N製Xstreamフィルターを採用し、ハーレーのVツインエンジンにシャープ&ゴージャスなアピアランスと性能アップをもたらす。

今回新たに追加された「BLADE」デザインは航空機のプロペラをモチーフとし、センターには Vance&Hines ロゴを配置。カラーはブラックとクロームが選べ、H-D 各車種用キットを設定する。バンス&ハインズ製エキゾーストと併せて装着することで、デザイン・性能ともベストマッチなカスタムとなる。

そのマフラーも新型スリップオンマフラーがラインナップに追加されている。エンドキャップの外側に大胆にもエッジの効いた切削を施した新型マフラー「TORQUER450 (トルカ 450)」は、バンス & ハインズでは初となるアメリカ国内 50 州(カリフォルニア含む)公認取得マフラーとしてリリースされた。

現在特許出願中となる最先端技術を施した LS-257 パッフルは、パワー&トルクを犠牲にすることなく重低音を響かせる。純正サドルバックエクステンションスカートにも収まる 4.5 インチ大口径マフラー「トルカ 450」は、クロームとブラックから選択が可能だ。